



2022年9月14日

各 位

会 社 名 株式会社プロレド・パートナーズ
(コード：7034 東証プライム)
代表者名 代表取締役 佐谷 進
問合せ先 管理本部長 外山 吉丸
(TEL. 03-6435-6581)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、2022年6月14日に公表しました2022年10月期（2021年11月1日～2022年10月31日）の通期業績予想を修正することについて、2022年9月14日開催の取締役会において決議しましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2021年11月1日～2022年10月31日）（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (単位：円)
前回発表予想（A）	2,515	△248	△460	△226	△20.71
今回修正予想（B）	2,515	△487	△698	△1,287	△117.87
増減額（B－A）	-	△238	△238	△1,061	△97.16
増減率（％）	-	-	-	-	-
（参考）前期通期実績 （2021年10月期）	3,649	726	523	533	48.13

2. 連結業績予想数値の修正理由

当社は、2022年6月14日に、当期通期の連結売上高を2,515百万円へ引き下げること、および当該時点において入手可能な情報をもとに連結利益の合理的な算定が可能となったことから、当該予想を開示することについて当社取締役会にて決議し、その旨の適時開示を行っております。

当該開示を行った後、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しいものであり、日本銀行が発表した2022年7月の企業物価指数は前年同月比で8.6%上昇しております。当該経営環境および今後の業績の見通し等を踏まえ、プロサイン事業に係るソフトウェア資産および繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当期において以下のとおり対応することといたしました。

① ソフトウェア資産に係る減損損失（特別損失）の計上

プロサイン事業に係るソフトウェア資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて回収可能性を検討し、将来の収益見込みなどを勘案した結果、当該ソフトウェアおよびソフトウェア仮定の帳簿価額の全額を減損処理し、特別損失783百万円を計上することといたしました。また、当減損処理に伴い、2022年10月期第4四半期以降のソフトウェア資産に係る減価償却費は低減する一方、プロサイン事業に係る投資金額はソフトウェア資産には計上されず、費用として計上されることとなります。なお、2022年10月期第4四半期では、ソフトウェア資産に係る減価償却費が12百万円低減する一方で、プロサイン事業に係る投資金額が250百万円費用として計上される見込みであるため、結果として営業利益および経常利益が238百万円減少しております。詳細については、本日開示の「ソフト

ウェア資産に係る減損損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

② 繰延税金資産の一部取り崩しに係る法人税等調整額の計上

繰延税金資産について、現在の事業環境および業績推移を鑑み、将来の課税所得を保守的に見積もったうえで回収可能性を慎重に検討した結果、当期連結決算において繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額に 38 百万円を計上することといたしました。

なお、①②いずれの会計処理も実質的な支出を伴わず、当社のキャッシュ・フローに影響を及ぼすものではありません。

引き続き当社を取り巻く経営環境が厳しいことを踏まえ、当社コスト構造について一定の見直しを行うことにより、短期間でコスト削減の効果を実現できるよう施策の実行を進めております。当社としては、これらの状況も踏まえたうえで 2023 年 10 月期（2022 年 11 月 1 日～2023 年 10 月 31 日）の通期業績予想の検討を進めてまいります。

(注)上記見通しは、当社が現時点で入手可能な情報から得た判断に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要素により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以 上